

地域経済活性化のための今後の 観光振興について

観光を架け橋に、つなぐ滋賀、つづく滋賀



滋賀県

母なる湖・琵琶湖。
—あずかっているのは、滋賀県です。

『観光を架け橋に、つなぐ滋賀、つづく滋賀』

政府は、観光を国の成長戦略の柱、地方創生への切り札であるとの認識の下、「観光先進国・日本」への飛躍を図るとし、取組を進めています。

今後、本県においても、定住人口の減少と高齢化が深刻となっていく中、地域の経済、交通、文化、コミュニティを維持・発展するためには交流人口の増加が不可欠であり、観光消費額を増加させ、地域経済を活性化するためのさらなる取組が必要です。

本県への延べ観光入込客は、平成24年以降以降増加しており、平成30年には5,253万人と過去最高となりました。さらに、本県を舞台としたNHKドラマが連続して放送されるなど、今後も観光入込客の増大が見込まれます。

一方、世界の観光大都市や、日本でも京都市などで「オーバーツーリズム（観光公害）」という負の側面が目立ち始めています。

このような状況を踏まえ、まさに「万」載一遇のこのチャンスに、さらに観光誘客を促進するとともに、観光の「質」を高め、持続可能な滋賀の観光を作り上げていくことが必要です。

— “観光”で地域経済活性化を図る。

単に来てもらうだけではなく、地元に触れてもらい、飲食、宿泊代などに「消費」してもらう。

— 「観光消費額」を増加させることが重要

“観光消費額”

$$\text{観光消費額} = \text{観光入込客数} \times \text{観光消費単価}$$

共通基準による観光入込客統計（観光庁）

『観光消費額を増加させるには、「観光入込客数を増やす」とことと、観光客が「観光で消費する金額を増やす」ことが必要。 — 観光の「質」を高め、観光客が「お金を使いたくなる滋賀」を目指す。』

— “観光消費単価”を上げる。

「日帰り観光」から、より単価の高い
「宿泊観光」へ



「夜間イベント」など、宿泊して体験したいプログラム企画を促進



「早朝にしか味わえない滋賀の風景」、「夜間ライトアップ」等を活かし、宿泊先としての滋賀を発信



魅力ある朝食・夕食
による宿泊誘客

『地元の祭りやイベントに、「早朝」「夜間」「食事」などのキーワードを埋め込むことで、宿泊観光への誘導を図る。』

— “観光消費単価”を上げる。

複数の観光地をつなぎ「観光周遊」を促進



滋賀県には、琵琶湖をとりまくように、「自然」「歴史遺産」「アクティビティ」など多彩で奥深い魅力を持つ観光資源が豊富に存在します。



ひとつだけを見てもらうのは「もったいない」。せっかくだから、もう一か所寄ってもらい、美味しいものを食べもらうことで、滋賀の素晴らしい魅力に触れてほしい。



観光キャンペーンなどを活用し、市町村を越えてつながることで、滋賀の「観光の質」をより高めたいと考えます。



『地域の観光資源をつなぎ合わせることでさらに魅力を高め、「もう一か所」「もう一食」を進める。』

— “観光消費単価”を上げる。

観光客が買いたくなる「滋賀ならではの」
の物産を振興

観光客は「お金を使いたい」。
「滋賀ならではの」モノや食の魅力を知ってもらえたら、滋賀に来た「思い出」として買って帰ってもらえるはず。
さらには、「滋賀のモノや食が欲しい」につながり、物産振興やさらなる観光誘客につながるはず。



埋れ木

布引焼



オールシルクのストール

琵琶湖淡水真珠



鯖棒すし



『「滋賀ならではの」モノや食の魅力をしっかりと発信し、滋賀の物産振興とさらなる誘客に繋げる。』

— 例えば、こんなことを一緒に進めませんか？



三井寺と桜



「LOVE FOR 湖北」
長浜城イベント



浜大津
こだわり朝市



ピラデスト今津から
奥琵琶湖の朝日



彦根城夜学2019

夜型
観光 × 朝方
観光

BSC びわ湖サンライズカヤック&
メロンパンづくり



県内各地で、夜型イベントや美しい景観のライトアップが実施されています。
この夜型観光に、例えば、琵琶湖の朝日を楽しむアクティビティや、朝市などを組み合わせることで、
宿泊観光につなげていく。

— 例えば、こんなことを一緒に進めませんか？



サイクルトレイン



クルージング×ビワイチ

交通機関との連携による多様なビワイチ



サイクリスト向けタクシー

県では、近江鉄道などの交通機関と連携したビワイチを促進しています。

“長い距離を自転車で走るのは、ちょっとしんどい”

そんなお客さまにも楽しんでもらえるよう、さらに交通機関との連携を促進し、ビワイチ・プラスを進めていきたいと思います。



AZUCHI信長ファンタジー
体験ツアー (R1.11.30)
主催：大河ドラマ「麒麟がくる」
近江八幡推進協議会

霸王信長の湖
～光秀・拝謁の航路～
megumiによる
琵琶湖湖上遊覧
大津港～長命寺港



鶏の
じゅんじゅん



小型船による
長命寺川・西の湖遊覧
長命寺港～常浜水辺公園

琵琶湖から河川を通して内湖まで船を使った体験ツアー。

正に滋賀の魅力を感じながら、戦国を体験できるツアーとして好評。

観光資源を“つなぐ”ことで、価値をさらに高め、誘客と観光消費増を進めましょう。

— 例えば、こんなことを一緒に進めませんか？



滋賀県・信楽が舞台の
“スカーレット”
放送開始以降、多くの観光
客が信楽に来られています。



19日からは「麒麟がくる」の放送が開始。
さらに多くの観光客の来訪が期待できます。
県と市町が一緒になって、「戦国キャンペーン」を
盛り上げましょう。

観光の盛上げには、NHKドラマ放
送などの“追い風”をうまく使うこと
が重要。



彦根城と桜



多賀大社 万灯祭

多賀大社とおみくじ



令和4年に予定されている多賀SIC供用
開始。6年に世界遺産登録を目指す彦根
城と連携することで、さらに多くの観光
客の来訪と、滞在時間の延長を進めま
しょう。

令和2年度の県・びわこビクターズビューローの主な取組例（案）

- － 戦国CP周遊企画、「ロケ地・滋賀」周遊促進、県内唯一の新幹線発着駅である米原駅の活用等による周遊観光促進

“戦国CP周遊企画・ 宿泊プラン造成”



戦国関連イベント、地域のプログラムや史跡等の観光スポットを結ぶ周遊企画を一体的に展開
OTAにおけるキャンペーン特設ページや誘引クーポンの設定などにより、宿泊を伴う観光誘客

“ロケ地・滋賀”



滋賀県内で大規模ロケが行われた大作映画の公開に合わせ、県内ロケ地を巡る周遊企画を展開

“米原駅広域観光拠点化”



ナショナルサイクルルート指定を活かし、インバウンドの“ビワイチ起点”など、米原駅を広域観光の拠点として活用

「戦国」をキーワードとした観光スポットや、

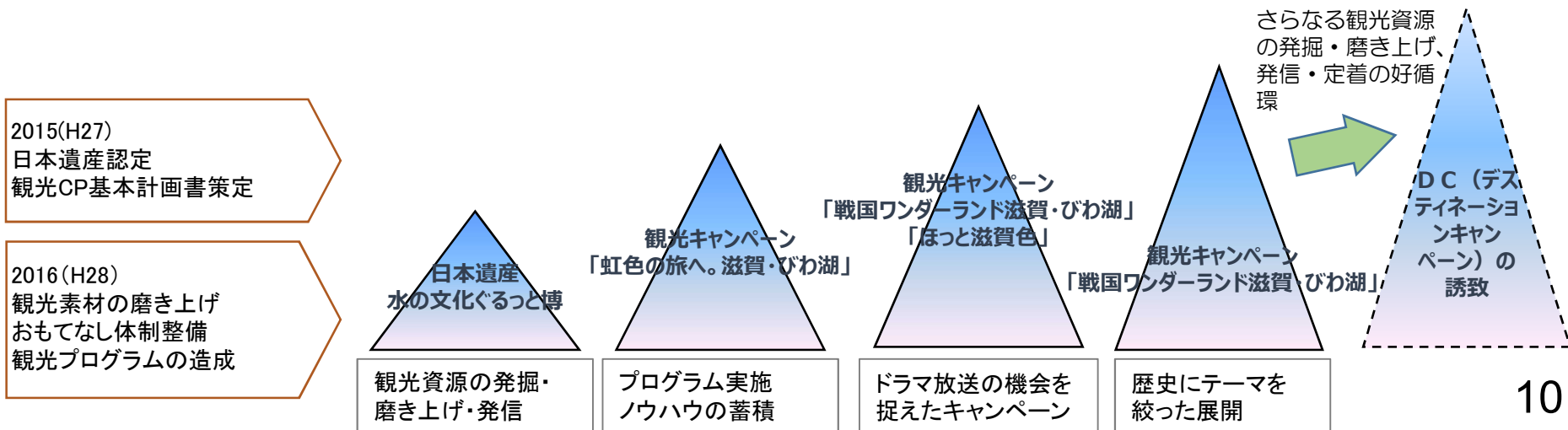
数多くのドラマ、映画の「ロケ地」を“つなぐ”ことで観光周遊を促進。

県内唯一の新幹線発着駅である米原駅を起点とし、

ビワイチなどにより県全体の観光周遊を提案。

— 中長期を見据えた観光施策の展開

	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8
国内イベント						東京オリパラ	WMG食博覧会大阪		敦賀開業		大阪万博	
滋賀県関係イベント						全国知事会 秋の花火大会 疏水竣工130年	最澄1200年 全国植樹祭 近美再開	多賀SIC 供用開始	新名神大津SIC 供用開始	国スポ・障スポ 彦根城世界遺産登録		安土城築城450年
本県における観光キャンペーン等の取組			日本遺産水の文化ぐるっと博	虹色の旅へ。滋賀・びわ湖	戦国ワンドーランド滋賀・びわ湖 ほっと滋賀色	戦国ワンドーランド滋賀・びわ湖		(プレ) DC	DC (アフター)	DC	DC	DC
観光入込客	4,794万人	5,077万人	5,248万人	5,265万人	5,500万人目標			6,000万人目標				



— 「健康しが」 ツーリズムビジョン2022

- **歴史と文化によって育まれた「滋賀そのもの」を活かした誘客**
→ 琵琶湖を始めとした自然環境、比叡山延暦寺や彦根城などの豊富な歴史遺産、「滋賀の暮らしそのもの」などを活かした観光誘客
- **観光客と地域住民の生活環境との調和**
→ 「観光地経営」の視点に立ち、「観光の質」を高めることで地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに、地域への誇りと愛着を醸成

⋮
「観光をきっかけとして、滋賀の魅力を広く浸透させるとともに、
来訪者にとっても居住者にとっても魅力あるまちづくりを進める」



観光を架け橋に、つなぐ滋賀、つづく滋賀